

第93回未来医療セミナー

2016 2/10(水) 18:00~19:00

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター1F マルチメディアホール
19:10~ 情報交換会:1Fホワイエ

孤発性・家族性疾患のゲノミクス、 分子標的治療と個別化医療戦略

モデレーター 金田 安史 (大阪大学大学院医学系研究科)



戸田 達史

神戸大学大学院
医学研究科 神経内科学/分子脳科学 教授

この25年の分子遺伝学、ゲノム科学の進展により、全く手がかりのなかった多くの神経疾患の原因遺伝子・病態が明らかにされ、教科書が大きく書きかわった。我々は、アルツハイマー病とともにcommonな神経疾患パーキンソン病にゲノムワイド関連解析、rare variant 解析を行い、孤発性疾患の感受性遺伝子を明らかにしてきた。また日本に多い福山型筋ジストロフィー原因遺伝子フクチンを同定し、近年根本的治療法につながる分子メカニズムと治療法を発見した。このアンチセンス核酸による治療法は全ての患者に適応となる初の根治療法となる可能性があり、今後臨床試験を目指したい。ここでは神経・筋難病の分子メカニズム、分子標的治療を概観する。

主催: 大阪大学大学院医学系研究科
共催: 未来医療交流会

後援: 日本医療研究開発機構 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学 「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

日本医療研究開発機構 受託研究開発 早期探索的・国際水準臨床研究事業
脳/心血管領域におけるアンメットニーズに対応する創薬研究
大阪大学医学部附属病院未来医療センター